

3年連続 最優秀賞に小松高



上位4校の表彰式=28日



ふるさとを再発見

一般社団法人・石川県古民家再生協会(山多宏代表理事)の「第13回民家の甲子園・石川県大会」(全国高等学校対抗民家町並みフォトコンテスト)が28日、加賀市山中温泉薬師町の山中座で開催され、応募した21校23チームのうち、18校20チームがプレゼンテーションを行い、最優秀賞(第1位)、県高等学校文化連盟賞)は小松高が受賞した。3年連続となる。第2位(加賀市長賞)は金沢北陵高、3位(同市教育委員会賞)が飯田高、第4位(ベストふるさと賞)が七尾高で、この上位4校が8月9日、高知県民文化ホールで開催される全国大会に進むことになった。

今回のテーマは「**再発見**」。プレゼンに臨んだ各校の生徒たちは学校周辺にある古民家

第13回民家の甲子園・県大会

18校20チームが発表 山中座で開催

や田園風景、自分たちが住んでいる地域の祭りや日常の何気ない町の佇まいの中から、ふるさとを大切にしたいというメッセージを込めていた「写真左上」コミカルな寸劇調の発表では会場から笑いがもれ、和やかな場面もみられた。最優秀賞に輝いた小松高の作品は苔の町であり、日用杉でも知られる小松市日用町の森の恵みに感謝する人たちの営みを見事に表現していた。

審査員は加賀市教育長の山下修平氏、同市建設部長の眞田茂樹氏、中杉写真館の中杉健氏、山中温泉芸妓の木乃葉さんの4名が務め、「写真下、身近にあるものの大切さや地域の宝を再発見した生徒たちを称えた。実行委員長の山多代表理事は今回の県大会につ

いて「生まれ育ったまちを知り、愛を持って大人になっていく。次世代に残すべきものは何かを懸命に考えてくれた」と総括した。団体の上位4校以外の表彰者は次のとおり。

【団体の部】▽5位 内灘高▽6位 金沢西 from sea
「風」高森紗希(田鶴浜高B)、「再開する、満面の笑み」東瑠香(金沢北陵高)▽グッド古民家賞「風格のある格子戸」松山隼也(能登高)、「私達が生まれる前から」金子時菜(七尾東雲高)、「遭遇」笹川国之(金沢西高)、「巨大梁との遭遇」奥井陽菜(金沢商業高)、「おばあちゃんの囲炉裏で炉辺談話その2」瀬川純也(加賀高) なお、16年の第14回県大会は七尾市で開催される。



▽7位 田鶴浜高B
▽8位 田鶴浜高A
最優秀PR文賞 金沢北陵高
【個人の部】
▽最優秀個人賞(第1位) 「人生」和田 凧紗(小松高)▽準備秀個人賞(第2位)